

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	坂井市社会福祉協議会 希望園 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和7年12月12日		～	令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和8年1月8日		～	令和8年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	母体が坂井市社会福祉協議会であり、法人内に相談事業所、ヘルパーステーション他、地域福祉課があるため、地域連携が図りやすい。	地域福祉課のボランティアセンターに協力を得て、積極的に地域のボランティアを受け入れ、活動の充実化や地域の人との交流につなげている。	新規ボランティアの受入れ。 地域の児童との交流の場。
2	同施設内にB型・生活介護事業所があり、卒業後の将来を見据えた支援を提供することが出来る。	日頃の挨拶や合同での活動を通して異世代交流や社会性を育む場を提供している。 活動に作業体験を取り入れ、能力に応じた作業内容を提供している。	作業体験の内容の種類を増やし、多様な体験を提供する。
3	園庭があり、晴天時は外で余暇時間を過ごすことができる。	児童の希望を取り入れつつ、気温を考慮して園庭で活動する時間を設けている。夏は環境省の情報をもとに熱中症予防に努めている。 昨年6月に立ち上がった「希望園運営委員会」を中心に、住民参加型で園庭整備を行っている。	園庭活動の充足化。 園庭を活用した地域交流。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動等の広いスペースが必要となる活動を行うには広さが十分でない。	園庭があるが天候に左右されるため室内での活動をメインに活動を計画している。 長期休暇中は近くのコミュニティセンターを利用しているが、平日は学校の送迎があるため行き来することが難しい。	限られたスペースでも思いきり体を動かせるよう、環境を整えて活動を提供する。晴天時と雨天時の両方の活動を計画し、晴天時は園庭で活動できる機会を増やす。
2	支援開始前と支援終了後の職員間の申し送り時間が十分に取れていない。	各職員の業務時間が異なることや送迎業務により全体での情報共有を行う時間が不十分になっている。	ラインワークスを活用し、随時情報共有を行っていく。